

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	有限会社konno
(ユニット名)	グループホームたんぽぽ
所在地 (県・市町村名)	宮城県 美里町
記入者名 (管理者)	今野 由美
記入日	平成20年 1月31日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	地域社会とのつながりのある生活を目標としボランティアの受け入れなどを多くおこなっている。	定期的ないろいろなボランティアさんにきていただいている。学生などのボランティア受け入れをしていきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	定期的な全体ミーティングなどで管理者と職員とで唱和している。	理念は常に、目の届くところに提示している。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	家族会を作り定期的に会議を行っている。	家族の皆様やお客様や地域の皆様にも見ていただけるよう、玄関にも理念を掲示している。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	冬には地域の皆様や通学路を通る子供たちに喜んでもらえるように外観を電飾で飾り、立ち寄っていただいていますし、又季節折々の野菜をいただいて楽しんでおります。	利用者様と同年代の方達をもっとたち寄っていただいて、お茶のみ会が出来る様にしてゆきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域との交流を大切に年2回のイベントを行っている。その際近所や家族を招待状を出している。	夏祭り、クリスマス会 雛祭り会等地域の皆さんと行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホームの前のバイパスにて行方、花祭りに見学に行ったり、夏ははす祭り、芍薬祭りと四季折々の行事に参加するようにしています。		地区の敬老会等への参加を促すが、足が痛いとか理由をつけて参加しておらず、ぜひ参加して行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価の反省から改正出来ることは直ぐに改正し、毎日のミーティングの中で修正して行っている。		全職員に評価内容を把握していただき、改善に向けての話し合いを蜜に行う。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	去年は3回しか開催できず、もう少し期日を守り、開催出来る様にしてゆきたい。		どうしても年間のおおきな行事にぶつかったりして、開催が延びてしまった事が反省です。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域の担当者会議に出席したり、町で開催の研修会に進んで出席しています。		以前は、地域の福祉業種の会議に出席の機会がありましたが、今は個人情報の保護のため、少なくなったことが一同に集まる機会がなくなりました。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員には外部研修の情報を流し、本人の希望を促しながら参加願っている。		直接関係する事がないため、あまり切実な問題点として捉えてない状況です。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県からの資料は直ぐ公開し積極的に考えている。		入所者の中で、ベットのサークルを使い、転倒防止に配慮している方がおりますので、機会があるたび、話し合っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所の際、時間をとって十分内容の説明を行っている。</p>	<p>入所時では、時間が取れないので前もって訪問いただき良くお話を聞き、又説明をきちんと出来る様にしております。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム側の人間をいれず、家族会のみで話し合いの機会を設けて頂きそこで出た意見を代表の家族会の会長さんにホームに伝えていただき改善して行っています。</p>	<p>すばやい対応を行えるよう心がけております。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月たんぽぽたよりを発行しホームでの様子を報告し、又訪問時には状況の説明をおこなっている。</p>	<p>月に一回はお便りを発行、来訪の少ない家族にも足を運んでいただけるようにしている。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を作り年2回会議と懇談会を設けている。</p>	<p>家族会での話し合いは、会長と副会長からの報告をしていただき、改善している。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>勤務体制、施設の行事、施設内の衛生面など全体で話し合い改善している。</p>	<p>定期的な全体ミーティングを行っている。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>緊急時には勤務延長、スタッフ要請を行っている。</p>	<p>職員数が多い為無理なく、柔軟な勤務体制を考えてます。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>担当制をとっているが、少なくとも半年は担当を変えないようにしている。</p>	<p>担当制をとっているが、利用者は自分の担当が誰なのか良く分からないが職員が気づきやすく、早期にアクシデントを察知できています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に介護の勉強会を行なっている。	色々な経験をしていただくよう研修を行っている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	美里町での福祉に関係している者でネットワークを作り勉強会や情報交換会を行なっている。	出来るだけ研修会などの情報を流し、参加できるようにしている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフの意見を尊重し、調和の役目をはたしている。	○ 職員の親睦を図るため夏祭りを行ったり、その慰労会を行ったり、忘年会を行ったりしていますが、他の施設との交流をなかなか行うことができない。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に1回は個人面談を行い話し合っている。	いつも管理者が居り、ホーム全体をまとめるように、心がけている。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が安心して暮らせる様に気配りを行っています。	実調をキチンと行い、本人にあうサービスが何か考えながら又スタッフと話し合いながら行うようにしている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者が経営者のため、家族が遠慮して言えない事を家族会が職員ぬきで、開催して代表から家族会の意見要望として聞いております。	家族がホームに利用者の訪問に来た折に、出来るだけ時間を摂って頂き家族の悩みをお聞きするようにしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人に合った自立支援の情報を提供しながら個々にあったサービスを考えていっています。		出来るだけ自宅での生活のように感じられるようにしています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入浴等本人の意思を尊重しながら、馴染みを作りサービスを始めるようにしています。		なかなか馴染めない方には、毎回説明し介護スタッフがストレスを感じないように又安心した生活が送れるように声かけている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	いつも対等な立場で接する。一緒に川柳を作ったり、替え歌を作ったりしています。		毎夕皆で一緒に、替え歌を歌ったり、カルタをしたり語らいの時間になっている。その時間を楽しみにしている、利用者もいる。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族からののはなしに共感しながらお聞きし、訪問時にはホームでの様子を出来るだけお話し、安心して家族が自宅で生活出来る様支援していく。	○	ホームに預けっぱなしになっている利用者も居り、いくらこちらから連絡をしても返事がなく、本人が寂しい思いをしているが、どうしようもなくホームで過ごしている利用者も居り、どうにかしたいと考えるが、なかなか進展していない。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人が困っていることや必要としていることがあれば家族にも相談し、良い関係を保つように調整しています。	○	快くホームの相談(利用者の代弁者として)に耳をかしてくれる家族とか、無返事の家族とかいろいろな方がおいでです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅への外出やお泊りを出来るだけ、出来る様支援しております。		家族以外の方の所へは、積極的には訪問していない、外出の際は家族が迎えに来ていただいている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者間でのいざこざが起きた場合は、人格を尊重しながら仲介し、仲を取り持つよう勤める。		思うよりお互い同じ環境の方が一緒にお話ししたり、楽しみが同じだったりで楽しそうに会話している場面もある。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他のホームに移った方へ、年1~2回は様子を伺いに訪問しております。	○	なかなか外部の方とのお付き合いは、出来ていません。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	皆が行う作業も無理強いせず、気の向くまま本人の体調により行っています。		ご本人の気持ちに沿って援助してます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	草取り、野菜作りをすることや、外出を好む方にはそのような環境を作ってる。		事前に利用者の情報を聞き取りし、それに沿った生活ぶりをスタッフ全員が、把握出来る様な体制をとっています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個性を大切にする為、一人ひとりの人格を尊重している。	○	偏った見方をしないで、本人の出来る事を見極める力を養って生きたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者とケアマネージャーとミーティングを行い、担当者に自覚を持っていただく。		担当制にした為、特別気にかけて全体像を観察しており、とても良い事のように感じております。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	担当から随時情報を頂、変更できる事は即座に変更出来る様心がけております。	○	3ヶ月に1回の介護計画を立てておりますが、もう少し変更が必要な時は随時変更したことをこまめに計画書を訂正、変更していきたいと考えてます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、特変や気づきを細かく記録している。		ケアプランについて話し合いを多くしていきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特別なし	○	現在は待機者もあり、なかなか部屋が空く状態にはならず、外部からの力を頂くためにも、デイサービスを行いたいと思っております。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	中学生の職場体験、ボランティアさんの紙芝居。消防の救急救命講習などを行っている。		手作りのバザーを町のイベントが行われたときに、一緒に参加しながら行いたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ボランティアさんの支援をいただきながら、他の方達との交流を図っている。	○	同じグループホームとの交流がないので、今後考えて生きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会に参加して頂いており、連絡はできるだけ行う。		メンタルケアの面で、情報を頂ながら実施してます。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や疾病に合ったかかりつけ医に定期的受診していただいています。		かかりつけ医とは信頼関係を構築しながら、連絡を密にとり行っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門科の通院を行っている。随時相談して改善されているケースもおります。		近隣に専門医が居るので、相談や治療を行っている。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常に看護師や介助員との間で情報の交換をおこなっています。		看護師のアドバイスにて、体力低下の予防となるリハビリを考えてます。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早いうちに気づき、早期に発見し早期に対処しております。		家族の方から、事前にお話をお聞きしホームでの対処が可能な限り行う。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期をむかえるにあたって、家族、医師と繰り返し話す機会を設け、本人、家族の方針を尊重している。		誕生月には健康診断を行っていただき、ドクターを交えてターミナルの迎え方を話し合っています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期の場合もホーム内で穏やかに暮らせるように本人と医師、看護師、スタッフと目標に向かって取り組んでいる。		終末期を迎える方には、家族もホームに泊まっていただき、心おきなく利用者の傍に居っていただき、ご本人が安心してその時を迎えられるようにしております。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設に移られる場合は、当ホームのケアプランなどをお渡しし又暮らしぶり等をきちんと話し合っております。	○	移られた施設とはなかなか情報の交換が出来ておりません。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	否定的な言葉はさげ、共感するように心掛けている。個人情報についても、ミーティング以外では慎んでいる。	個性を尊重し、その方のできることを見極めるように、気づきの目を養うよう心がけて居ります。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	施設内で杖を使用したり、ポータブルトイレを使用したり、本人の望みどおり行えるようお話している。	できるだけ繰り返し説明しなぜ必要か、必要でないか考えていただき、自己決定していただく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間とおやつの時間のみ、決めてあり後は自由に過ごしております。	自然に時間が決まり体で感じて行動しているようです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容や美容は外出はないが、アクセサリを手づくりして身につけています。	訪問理容を2ヶ月に1回行ってます。好きな床屋さんに行くよう声掛けるが、歩くのが大変なようで、ホームの中から出たがりません。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ジャガイモとかの皮をむいたり、干し柿を作ったり、畑で自分達で作ったものを食べるように、又毎食のお手布巾など自分達で用意していただいています。	食事が終わってからかたづけは、かかさず女性人は行っています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	毎日ヨーグルトを食べたい方とか、晩酌を欠かさず希望する方には、希望を取り入れております。	夕食前の晩酌等。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	チェックシートを使い、排泄の際のチェックを行っている。		オムツを使用していても排泄の訴えが有る時は、トイレに誘導し、オムツから離れられる様取り組んでいる。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望で行って頂いております。		バイタルチェックを行い入浴のできる利用者に声掛けし、本人の希望で行っていただいております。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の休みたい時間に休んでいただいております。		夜は早く休む方は休んで戴くが、休みたくない方で歌を歌ったり、休むまで楽しく過ごせるようにしていただいております。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の希望で手芸の材料を用意しております。		畑を作り、野菜を作っている。又絵手紙のボランティアさんや手芸の先生など来てくださり、教えていただければ、孫達にあげたいと数多く作っています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の申し出で、必要な額を本人に管理して頂いております。		本人が食べたい物などを頼まれ、職員と一緒に買い物に行ったりしております。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望で外出を行っています。		自宅への外出、外泊。買い物などの付き添い。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節を感じる場所へ見学をしにドライブをしています。		桜、コスモス、ひまわり、彼岸花、はすの花、白鳥など季節を感じて戴くように希望する方をお連れしております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月書く絵手紙を家族に出しております。又電話したい時も自由に援助しております。		本人が家族と話したいと希望のある際は、自分の居室などで電話していただいております。お正月には、1年間に書いた絵手紙を年賀状としてお出ししています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	日中は鍵をかけず、見守りで自由に外へ出かけるようにしています。		利用者さんのお客様が訪問した時は個々のお部屋にて会話したり、応接間でお話ししたりしております。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に利用者の安全を確認し、ストレスの感じない生活をしていただく様取り組んでいる。		出来るだけ身体拘束をしないよう、スタッフと話し合いを行いますが、やむ負えない場合のみ、家族の了解を得ております。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかける事なく、見守りで自由に外に出る事が出来る様にしている。		夜間は本人の希望で鍵をかけれるようにしており。その際は利用者が自分で鍵をかけ、スタッフはマスターキーを持っております。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人の希望に応じて安全に過ごせるようにしている。		本人の希望で居室などで過ごし際は、定期的な声かけを行い、お茶などをお部屋に運んだりしています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	自分で管理できる方は、安全を見守りながら自分で行っていただいています。		目薬、はさみ、裁縫道具など自分で管理し、使用する際は見守りを行います。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒防止のため、手すりをつけていたり、廊下は出来るだけ物を置かないで、広く使えるようにしております。又薬は、職員が管理しております。		部屋の中や、庭を散歩する際はスタッフが見守りを行います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生、利用者の急変時の対応マニュアルを作成してま す。	年に1回救急救命士による勉強会を行なっている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災や地震時の対応マニュアルや非難マニュアルを作成し ている。	年に1回利用者と職員で火災、地震の非難訓練を地域の 消防に指導していただいている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者の変化はいつでも家族と話し合える様にしている。	月に1回利用者さんの事を書いた手紙を作成家族へお出 ししている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	個人の変化がわかりやすい様、1人1人の日誌を毎日つけて いる。	毎朝のバイタルチェック、排便のチェックシート、1日1回の スタッフのミーティング
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	担当が服用している薬の名前、何のため服用しているか書き 出し、いつでも見られるようにしてある。	個人の服用している薬のファイルを作成している。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便のチェックシートを作成している、毎日の排便のチェック を行っている。	排便がない際、観察や水分補給での対応、医師への相談 も随時行える様にしている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの管理、歯のある方は歯ブラシで、入れ歯の方は 夜間ポリデントで対応。	自分でケアの出来ない利用者は口腔スポンジで対応し ている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	形のある食べ物を食べられない利用者には、刻み食で対応、個人の体調にあわせ対応している。		毎回の食事で十分な栄養が摂取できない利用者には、ヨーグルト、プリン、栄養補助食品を食間に摂取していただいている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防のマニュアルを作成している、全体会議で予防の話し合いを行っている。		手洗いの習慣、食事前のアルコール消毒、肝炎などの対処方法の話し合いを行っている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	使用後は消毒で対応。		まな板、布巾等は熱湯消毒で対応。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者、家族、近隣の方にいつでも出入りできる様日中はかぎをかけず玄関には季節の飾りつけを行っている。		花壇の作成(ガーデニングのボランティア)。季節の置物の作成
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が常に季節を感じられるうに対応しています。		ホール、、居室に季節のものの飾りつけ。お雛様、五月人形 七夕飾りなど。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者が自由に過ごす事の出来るスペースをもうけている。		自分の部屋にテレビのない利用者のためや利用者同士で楽しめる様ホールのテレビの前には、コタツやテーブルを置いてある。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者と一緒に部屋の模様替えを行ったり、本人の思い出のものを飾ったりしている。		利用者の馴染み深い物を持ってきてもらえる様、家族の協力をいただく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	喚起システムが24時間喚起を行っている。温度調整は季節に応じて対応している。		常に喚起を行っている。各部屋にエアコンを設置本人に合わせた温度で対応している。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒を防ぎ、本人の残存機能を活かせる様工夫している。		段差をなくし、手すりの設置。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の変化や体調に応じて混乱を防ぎ、安心の出来る工夫をしている。		トイレ、お風呂への目印。自分の部屋の表札。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭やデッキで利用者が楽しんだり趣味を生かす事が出来る様にしている。		畑を作り季節の物を作っている。秋にはデッキに干し柿をつるす。デッキにテーブル、椅子、を置き日のあたる場所で休めるようにしている。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個々の利用者の体調や趣味を生かして、自由に在宅で暮らしている様に、食事時間のみ決めて暮らしていただいております。

長い間一緒に暮らしていると、自然に一日の流れが出来てきております。

田舎の畑とか田んぼの中にあるホームなだけに、近所の方達から、季節の野菜の差し入れも多く季節感を感じられる生活をしています。